

(公財)とやま国際センター広報誌

TIC NEWS

2023

10

Vol.149



特集..

祝日越外交関係樹立50周年

Live Together In Toyama

富山で暮らすベトナムの同胞に寄り添う留学生

富山大学大学院で製菓を学ぶグエン・ゴック・タン・リュアンさん。
日頃から、富山県で暮らすベトナム人の人たちに思いを寄せ、同胞
が楽しく安心して生活できるよう陰から支えています。ベトナム人の
皆さんの暮らしぶりや、リュアンさんの活動内容などについてお話
をうかがいました。



Nguyen Ngoc Thanh Luan
グエン・ゴック・タン・リュアン
ベトナム ドンナイ出身。
富山大学大学院博士課程に在学中。
富山県ベトナム人会の副会長として、
ベトナム人コミュニティにおける交流や
生活のサポートなどに尽力。

——留学先として富山を選んだのは、
どのような理由からだったのですか？

生まれたのはベトナム南部のホーチミンから約30km離れたドンナイという町ですが、ベトナムで大学を出たあと、2018年に広島大学大学院修士課程に入学しました。そのあと富山へ来たのは、広島大学の先生から「製菓を学ぶなら富山大学がよい」と勧められたからです。2020年に富山大学の研究助手となり、今年2023年の春から大学院博士課程に進みました。

——富山に住んでみて、どんな印象を受けましたか？

広島では周囲に英語を話す人が多かったのですが、富山では広島ほど多くはなく、とまどうこともありました。日本語は大学の無料のプログラムを受講して学びましたが、残念ながらそんなに上達はしていません。富山の路面電車は広島に比べると本数が少なく、電停と電停との間隔が長いので、来た当初は交通に不便さを感じましたが、去年、英語で自動車免許を取り、クルマも持つようになったので、不便さは解消しました。富山のいいところは、自然が多くて、眺めているだけで癒されるところですね。それに、空気がきれい。ヒトが優しく、海鮮や酒がおいしいところも良いですね。ただ、冬は積雪があるので、今も苦手です(苦笑)。

——卒業後はベトナムに戻るつもりですか？

大学院を卒業したあとは、具体的にどこははまだ決まっていませんが、富山県内の製菓メーカーに就職する予定です。複数の製菓メーカーによる支援プロジェクトから奨学金をもらっていて、インターン

シップと就職が奨学金の条件となっているのです。自分としては、今のところ将来的にもずっと富山で働き続けたいと考えています。

——富山に暮らすベトナム人の皆さんはどんなことで困っているのでしょうか？

現在、「富山県ベトナム人会」の副会長をしていて、多忙な会長に代わり運営を担っています。この会は、2019年に組織されたもので、サッカー大会などを開いてメンバー間の交流を図るとともに、フェイスブックを通じて悩みや困りごとを共有しています。もし、母国でしか解決できないようなことがあれば、東京の大使館につなぐ役割も果たします。

フェイスブックで見かける相談としては、病気にかかったがどんな薬がよいか、どこで受診すればよいか、といった健康に関することが多いですね。例えば、花粉症にかかっても、自分がどんな病気にかかったのか分からないまま、といったことになりがちです。身近に健康のことを相談できる人がいないことに不安を感じるベトナム人が多いように思います。ほかには、仕事探しや転職についての質問、ビザに関する質問も多いです。

——リュアンさん自身はベトナム人の皆さんにどのようなサポートをしていますか？

コロナ感染者が多くなった時期には、無料のPCR検査の情報を提供したり、検査手続きをサポートしたりしましたが、最近、感染も落ち着いてきたので、県内のお出かけスポットやおいしい店の情報を投稿したりしています。今、なぜか若い人たちの宗教への関心が高まっていて、「お

寺に行きたい」という人が増えているので、お寺に関する情報を集めて提供したりもしています。

——どうなれば、ベトナム人の皆さんがもっと楽しく安心して暮らせるようになると思いますか？

日本人以外も含め多国籍の人たちと文化を紹介しあう、一緒に料理やゲーム・ダンスをするなど、交流の機会や場所がもっとあるとよいと思います。また、言葉の問題を感じることなく病院へ行くことができるようになるとうれしく感じますが、ベトナム人自身にも日本語の能力を高める努力が必要ですね。

ベトナム人会では、サッカー大会のほか、運動会も再開したいと思っていますし、旧正月にはイベントやパーティーを実施したいと考えているので、行政やとやま国際センターには、サポートやアドバイスをもらえるとうれしいです。



Zoomオンラインセミナー “歌う民ラトビア人”

今年度の多文化理解連続講座の第1回目は7月22日(土)、“歌う民ラトビア人”と題して、5年に1度開催される「歌と踊りの祭典」についてラトビアからオンラインで講義をお届けしました。

講師には、元国際交流員のオレグス・ピシュチコフスさんをお迎えし、大国に翻弄された苦難の歴史をもちながら歌うことを辞めなかったラトビアの人々・文化について楽しくご紹介いただきました。

語学講座「中国語初級」が開講しました！

8月から中国語初級の語学講座を開講しています。講師は中国(遼寧省)出身の国際交流員の鄒超(スウ・チョウ)さん。対象は、中国語を1年間程度学んだことがある方。木曜の18:30～20:00、全20回です。まだ定員に空きがありますので、ご興味がある方は是非お申込みください。

お知らせ

ナマステインディア

インド出身のバーガワトゥラ・シリラリティア国際交流員が、インドの様々なことを英語で紹介します。

予定	10/16・30(月) 「インドの有名人」
	11/13・27(月) 「クイズでインドを探検しよう!」
	12/ 4・18(月) 「インドの不思議な謎」
時間	18:30～20:00
場所	(公財)とやま国際センター ラウンジ
費用	無料
申込	不要。お気軽にご参加ください。

你好中国(ニーハオ・ジョングオ)

中国(上海)出身の国際交流員の孫明明(ソン・メイメイ)さんが、中国の文化や日常生活などについて中国語で紹介します。

予定	10/10・24(火) 「中国 上海について」
	11/ 7・21(火) 「中国の観光地」
	12/ 5・19(火) 「中国の伝統的なお祭り」
時間	18:30～20:00
場所	(公財)とやま国際センター ラウンジ
費用	無料
申込	不要。お気軽にご参加ください。

国際交流フェスティバル2023

異文化理解と交流を深める「国際交流フェスティバル」が4年ぶりに開催されます。

日時	11/12(日) 10:00～16:00	場所	オーバード・ホール 中ホール
内容	外国人カラオケ大会、世界の国々の民族衣装を着てみよう!etc.		

とやま国際塾

9月16日(土)、県内高校生を対象とした「とやま国際塾」を開催しました。17名の高校生と、3名の海外研修員、8名の県国際交流員(CIR)が参加し、互いに交流を深めました。午前の部では、アイスブレイクとして「お互いを知ろう!」コーナーをCIRが企画し、ゲーム等を通して楽しみながらコミュニケーションを図りました。午後の部「国際協力講座」では、JICA富山デスク国際協力推進員の金岡紀子さんによるJICA海外協力隊の紹介の後、協力隊OGの三輪晃子さんからネパールでの作業療法士としての活動について紹介がありました。続いて、ネパール出身、曼荼羅(まんだら)仏画師のダルマ・ラムさんを講師に迎え、「ネパールに残る幸福の文化」をテーマに講演をしていただきました。



多文化共生フォーラム

様々なゲスト、パネリストをお招きし多文化共生社会についてみんなで考えます。

日時	12月2日(土) 14:00～16:00(予定)
場所	インテックビル3階スカイホール
内容	第一部：対談「多文化共生がつくる社会」 ゲスト 京都精華大学 前学長 ウスビ・サコさん (アフリカ・マリ共和国出身) 第二部：パネルディスカッション「外国人が考える多文化共生」 パネリスト 湯川ルシレーネさん グエン・タン・ダンさん ナワブ・アリ・ベラムさん
費用	無料
定員	150名(先着)
申込	要事前申し込み。郵送、FAXまたはWeb(上記QR)にて受付中。



国際交流人材バンク通訳者セミナー

TICの国際交流人材バンクにご登録いただいている方、または通訳・翻訳にご興味のある方を対象に通訳者セミナーを開催します。

日時	12月9日(土) 13:30～15:30
場所	(公財)とやま国際センター研修室A
内容	AI化と通訳者、通訳者の仕事・役割について
対象	TIC国際交流人材バンク登録者または通訳・翻訳に興味のある方
費用	無料
定員	30名
申込	メールにて受付。(詳細はTICホームページ参照)

新任CIR(国際交流員)より着任のご挨拶



鄒 超(スウ・チョウ)さん

(中国・遼寧省・瀋陽市出身)

はじめまして。国際交流員の鄒超です。日本を好きになったきっかけは幼い頃に見た『君が憤怒の川を渡れ』という日本映画です。福岡県で日本語を専攻し、8年間留学しました。実は富山には以前仕事で滞在したことがあり、またプライベートも含め10回以上訪れたことがあります。今回交流員として第二の故郷である富山にまた来られてとてもうれしいです。好きな富山の食べ物は白エビの刺身とおでんです。休日はよく富山の街をウォーキングしています。紅葉の時期には立山に行きたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。



孫 明明(ソン・メイメイ)さん

(中国・上海市出身)

初めまして、中国上海から来た国際交流員の孫明明です。今回国際交流員として富山に來ることができとてもうれしいです。私は小さい頃から、日本のドラマが好きでしたので、大学で日本語を勉強しました。

好きな日本の食べ物はお好み焼き、牛丼、お寿司です。休日は、友達と一緒に旅行に出かけることが多いですね。富山に着いてから一か月間、もう立山、岩瀬浜、金沢、東京など色々旅行しました。おわら風の盆も体験しましたよ。秋になったら、黒部峡谷と宇奈月温泉に行ってみたいです。どうぞよろしくお願いします。

サッカーで富山県とベトナムの架け橋に

ベトナムとのサッカー交流を行っているカターレ富山のアカデミーディレクター野田さんにお話を伺いました。

カターレ富山とベトナムとのつながりは昨年5月にホーチミンで開催された出張サッカー教室から始まりました。ベトナム国内には数多く日本企業が進出していますが、コロナ禍の2年間、帯同家族の子どもたちが日本に帰国できない状況にあるという話を聞いたことがきっかけでした。そんな子どもたちに少しでも日本を感じて元気を出してもらおうと、ホーチミンでサッカースクールを主催している池山諒太さんの協力をいただき実現しました。

その後、この出張サッカー教室がベトナム国内でも評価され、カターレ富山のアカデミーU13が2023年3月にザライ省で開催された国交樹立50周年記念の国際大会に招待されることになりました。現地プロチームの下部組織やJ2ジュビロ磐田のU13と真剣勝負ができたことは、選手、スタッフにとって貴重な経験となりました。大会後には、ベトナムに進出している県内企業（北陸銀行、YKK）を訪問し、海外進出の意義や海外生活の心得、国際感覚の必要性を学びました。また、ベトナム戦争証跡博物館を見学し、戦争の悲惨さと平和の尊さを実感するなど、サッカー以外の活動も充実させました。

今回の海外遠征は、感性豊かな少年たちに国際経験を積ませ、しなやかな国際感覚を養わせることに賛同いただいた富山県内及びベトナムの企業10社から協賛を得て実施しました。今後も事業の継続化を図るとともに、ベトナム国内のクラブを富山県での大会に誘致し、相互交流を図れるように発展させていきたいと考えています。



(提供:カターレ富山)

日本に住むベトナム人に信仰と交流の場を

炎暑真っ盛りの8月中旬、射水市白石の浄土宗寺院 阿弥陀寺で「お盆まつり(盂蘭盆会(うらぼんえ))」が行われました。ベトナム人の皆さんが多く集まると聞き、参加してみました。

当日は、おおざっぱに言って、前半が日本式、後半がベトナム式で進められました。ベトナム式では、釈迦の弟子の一人が餓鬼道に堕ちた母親を救ったという伝説が紹介され、両親への感謝や孝行の気持ちを込めて、読経が行われ、歌や踊りが披露されました。日本式よりもにぎやかで、ステージ上の装飾など色彩豊かな印象を受けました。

このまつりを企画したのは、ベトナム南部のヴィンロン市出身の鈴木光直さん。日本での滞在通算15年間、2020年に日本に帰化し、2年前から阿弥陀寺で僧侶見習いとして修行中という方です。山本雄毅住職の理解を得て、日本で暮らすベトナム人に信仰と交流の場を提供しようと、今年春の花まつりに続いて企画したとのこと。この日集まったのは、石川県や遠くは茨城県からも含め、県内外の若い男女およそ40人。まつりのあとは、肉や魚抜ききのベトナム料理と一緒に味わいながら交流を深めていました。

寺院での修行のかたわら、射水市や高岡市で在住ベトナム人向けの生活相談員を務め、さらには自ら会社経営も行う超多忙の鈴木さん。会社事業の一環として今年4月に富山市内でオープンしたベトナム料理店は大盛況とのこと。阿弥陀寺が若い世代のベトナム人の皆さんの心のよりどころとなっていくこと、また、鈴木さんがベトナム人コミュニティのキーパーソンとして活躍されていくことを願っています。



まるでホイアン!? 幻想的なランタンが彩る 「なめりかわランタンまつり」

8月、今年で14回目を迎える「なめりかわランタンまつり」が開催されました。滑川市の旧宿場町の瀬羽町の街並みが、ランタン祭りでは有名なベトナムの港町ホイアンに似ていることがきっかけで始まったこのお祭り。県内各地から幻想的な風景を一目見ようと多くの人々が訪れます。ベトナム人の来場者も年々増えているとのこと。4日間にわたって行われたお祭りをご紹介します。

旧宮崎酒造

かつて酒造業を営んでいた国登録有形文化財の建物内は約400個のランタンやキャンドルで彩られ、来場者を楽しませました。



アオザイファッションショー&ダーカウ蹴り選手権

ベトナムから取り寄せた100着以上のアオザイによるファッションショーとダーカウ(ベトナムの伝統的なスポーツ。羽を使った蹴鞠のような競技)選手権が行われました。



表紙: (左から) ベトナム出身のチャンさん、タムさん、クエさん、ヒエンさん。実習先(ケアセンター笑美寿)の職員の方と一緒に来られたとのこと。ご協力ありがとうございました。



富山デスクからのお知らせ

「国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2022」最優秀賞（外務大臣賞）

この夏、コンテスト最優秀賞の副賞であるタイでの海外研修に参加した棚田さんは、ほかの15人の受賞者とともにJICA事業の関係者や学校などを訪問。どんなことを感じてきたのか、レポートを寄せてくれました！

タイという国は日本よりも治安が悪く、発展途上国と聞いていたので、スラムや教育が受けられないような現状だと思っていたのですが、タイのスワンナプーム空港からバスで移動しているとき、窓から見た景色に衝撃を受けました。高層ビルや高速道路がたくさんあり、思っていたより発展していたからです。首都バンコクとその他のエリアの地域格差が大きく、また富裕層と貧困層の格差が大きいと感じました。

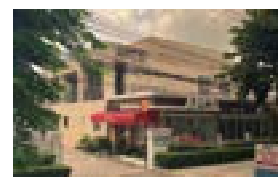
研修を通して特に印象に残ったのが、アジア・太平洋障害者センター（APCD）の見学です。そこでは障がいとは何か、障がいを持っている方の働き方、これから目指していくべき社会を考えさせられました。そもそも障がいとは、なんだろう。例えば、車いすの人が階段を登れないのなら、車いすの人が障がいのではなく、その階段が障がいなんだと気づき、僕の中で障がいのイメージが変わりました。

タイでは、障がいの有無に関わらずみんなが共生し多様性を認め、社会全体が人々を包んでくれていると思いました。今回のタイでの研修は、とても貴重な体験になりました。

棚田 武蔵 さん（射水市立射北中学校3年）



棚田さんの
作品はこちら→



コンテストに
ついてはこちら→



Field Report

富山県出身のJICA海外協力隊員からの現地レポート



竹端 祐未（たけはな ゆみ）さん

派遣国 パラグアイ

職種 助産師

派遣期間 2022年8月～2024年8月



2022年8月より、グアイラ県イタペ市にあるイタペ家族保健ユニットに配属されています。イタペ市は牛や馬が道を歩いており、とても静かでのどかな場所です。パラグアイは日本のほぼ反対側に位置し、夏は40℃程度まで気温が上昇します。冬は10℃以下まで気温が低下しますが、日中は30℃以上になることもあり、1日の中での寒暖差が激しいことが特徴的です。

活動は、助産師隊員として妊婦健診の補助や母親学級の開催などを行っています。日本よりも妊婦健診の回数は少なく、妊婦健診の重要性を説明し安全に分娩を迎えられるよう支援しています。また、配属先は保健センターと小さなクリニックが併設された施設であり、妊婦さん以外にも糖尿病や高血圧症を持つ患者さんも受診されます。生活習慣病患者の増加はパラグアイでも問題になっており、そのような地域住民に対する健康教育も行う予定です。残り1年の任期の中で、地域住民全体の健康に対する意識を高められるよう、同僚と共に活動したいと思っています。



今回のテーマ：各国で人気のボードゲーム

BRAZIL ブラジル出身 アリーネさん



私の地域では、あまりボードゲームをやる習慣がなく、人気があると言えるようなゲームを検索しても、見たことがないものが多かったので、一つブラジルを起源としているボードゲームを紹介します。ブラジル先住民ボロロ族のjogo da onça (ジャガーゲーム)というゲームで「14匹の犬(赤の駒)」と「1匹のジャガー(青の駒)」の対戦です。犬は、ジャガーに逃げられないように周りを囲むように取り組み、ジャガーは6匹の犬をチェッカーのようなやり方で捕まえることが目標です。

KOREA 韓国出身 ヘミンさん



韓国で昔から人気のボードゲームの1つは「ブルーマーブル」です。韓国人なら誰もが知っているといっても過言ではないボードゲームで、モノポリーを韓国版にアレンジしたものです。最大4人までプレイ可能で、2つのサイコロを振り、盤上を周回しながら他プレイヤーと盤上の不動産を取引します。家やホテルなどの施設を建設することで他のプレイヤーから高額なレンタル料を徴収して資産を増やし、最終的に他のプレイヤーを全て破産させれば勝ちとなります。

RUSSIA ロシア出身 タチアナさん



ロシアではチェス、チェッカー、バックギャモン、モノポリーやすごろく等のボードゲームが人気です。すごろくのクラブもあります。日本文化に興味がある人には将棋や囲碁、麻雀が人気です。私はバックギャモンというボードゲームが好きです。しかし、このゲームはあまり若者の間で人気のあるゲームではありません。そもそも知らない、知っていても名前だけという若者が多いですね。ただ、30〜40代以上のロシア人であればほとんどのこのボードゲームを知っています。バックギャモンはサイコロのゲームなので運ももちろんありますが、戦略も必要です。タイ・ゲームがないのも特徴です。

INDIA インド出身 シリさん



世界中で人気のあるボードゲームの多くは、古代インドに起源を持っているとされています。例えばチェスは、古代インドのボードゲーム「チャトランガ」を起源としています。

現代でも人気のボードゲームは、古代インドのゲーム「パチーシ」を起源とする、2〜4人用の戦略ボードゲームLudo(ルド)、別の古代のインドゲームを由来とする「蛇と梯子」が人気ですね。玩具店では「ルド」と「蛇と梯子」が両面に描かれているゲーム盤が売られています。子どものころ、よく家族でこの2つのゲームをして楽しんだことを懐かしく思い出します。

AMERICA アメリカ出身 アリスさん



アメリカでボードゲームといえば人生ゲーム、カタン、そしてモノポリーが人気です。小さい頃は定番のモノポリーではなく、ディズニーマをよくやりました！プリンセスのキャラクターになり、お城を買ったり、悪役カードを引いたり、モノポリーには色々テーマがあり、以前ネットで手作りテイラー・スウィフト版を見かけたことまであります(笑)それから、子供向けの「キャンディーランド」という人気ゲームも懐かしいですね。コマを回すシンプルなゲームですが、各エリアやキャラクターにお菓子里にちなんだ名前が付けられていて、とても創造的なゲームです。

VIETNAM ベトナム出身 タオさん



ベトナムのボードゲームといえば、オー・アン・クアンという子供がよく遊ぶ伝承遊びです。研究者らによると、紀元前約1580年から1150年頃までエジプトに存在していた「マンカラ」というゲームを起源としているそうです。オー・アン・クアンは通常2人以上で行う戦術的なゲームで、ゲームにはどこでも手に入る材料を使用します。よく使うのは小石50個〜大きな石2個です。いわゆる地面で遊ぶボードゲームで、チョークでフィールドを描くのが一般的ですが、専用の台紙もあります。

CHINA 中国出身 スウさん



中国のボードゲームと言えば、やはり囲碁ですね。4千年前に堯が発明したとされ、古代中国の四芸(琴、棋、書、画)の一つでもあります。紀元前では弈と呼ばれており、漢の時代から棋と呼ぶようになりました。囲碁の棋盤は縦、横19本の線で構成され、361の交差点があり、白、黒各150枚の碁石があります。囲碁のルールは兵法に似ているので、大勢の人に好かれました。古くから多くの名手を輩出し、中国の国芸とも言われています。唐の時代に遣唐使によって日本に伝来したとされており、韓国や東南アジア諸国、欧米にも伝わっています。今でも、中国、日本、韓国の棋士たちは囲碁を通じ、良い勝負をして、深い交流をしています。

CHINA 中国出身 ソンさん



麻雀は中国の伝統的なボードゲームで、牌を使用して行います。牌は全部で136枚で構成され、万、筒、条の三つのスート(マーク)にそれぞれ1から9までの数字が振られています。プレイヤーは観察力、記憶力、判断力を駆使し、牌の分析や勝負を行います。エンターテインメント性が高いゲームであると同時に、麻雀は交流ゲームでもあります。プレイヤーはプレイを通してコミュニケーションをし、友情や互いの理解を深めます。麻雀はその文化性と多様性によって世界中で広く愛されています。高齢者も若者も、麻雀で楽しみと挑戦を見つけることができます。



ベトナム料理



ミー・サオ・ボー MÌ XÀO BÒ



ベトナム出身 タオさん

ベトナム風焼きそばで、ベトナム人はみんな大好き。屋台でもよく食べられますよ。麺は生ではなく乾麺を使うのが主流です。



材料(4人前)

乾麺…………… 4袋
牛肉(薄切り) …… 約300g
トマト…………… 3個
小松菜…………… 1株
玉ねぎ…………… 1個
人参…………… 1本
ニンニク………… 10片
生姜…………… 1片
万能ねぎ………… 3本
パクチー………… 1株
サラダ油………… 適量

手に入れば「ハオハオ」がおすすめ!
焼きそば生麺でも代用可能です♪

<合わせダレ>

鶏ガラスープの素 小さじ2/3
味の素 小さじ2/3
粗挽き胡椒 小さじ2/3
オイスターソース 小さじ1.5
砂糖 小さじ2/3

<調味料⑧>

味の素 小さじ2/3
オイスターソース 小さじ1.5
醤油 小さじ2.5
ヌクナムまたは
ナンプラー 小さじ2/3

<調味料④>

鶏ガラスープの素 小さじ1.5
オイスターソース 小さじ1.5

(下準備)

- ・ 牛肉を食べやすい大きさに切り、合わせダレに15分ほど漬けておく。
- ・ ニンニクと生姜はみじん切りにし、それぞれ半量ずつに分けておく。
- ・ 人参は4〜5cmの細切りに、小松菜は5〜6cm幅に切る。
- ・ トマトと玉ねぎは食べやすい大きさに半月切りにする。

(作り方)

- ① 乾麺を20〜40秒ほどゆで、湯切りしておく。
- ② フライパンに油をひき、ニンニクと生姜(半量)を弱火で炒める。
- ③ 香りが立ったら火を強め、牛肉を炒め、火が通ったら一旦取り出しておく。
- ④ ニンニクと生姜の残りを入れ、野菜(人参、小松菜、トマトの順で)を炒める。
- ⑤ 野菜に火が通ったら調味料④を加えよく混ぜる。
- ⑥ 玉ねぎと麺を加えて火を強め、調味料⑧で味付けをする。
- ⑦ 牛肉をフライパンに戻し入れさらに炒める。
- ⑧ パクチー、万能ネギ(みじん切り)、胡椒をかけて出来上がり。

デザートにいかが? /



バナナチェー

材料(4人前)

バナナ 2本
ココナッツミルク 200cc
ゆであずき缶(加糖) 100g
くるみ(ロースト) 8粒

トッピング用にバナナを数枚スライスし、残りをボウルに入れ潰したらココナッツミルクを加えてよく混ぜる。
あずき、くるみ、バナナをトッピングして完成♪

にほんご教室

場所 (公財)とやま国際センター(富山市牛島新町5-5 インテックビル4階)

(入門クラス:全18回)

日時 日曜日AM10:00〜12:00

10月	22,29	1月	7,14,21,28
11月	5,12,19	2月	4,11,18,25
12月	3,10,17,24	3月	3

内容 ひらがな、カタカナ、あいさつから学びます

定員 12人(先着) 費用 6,000円

※10/22にオリエンテーション、クラスを決めます。

※16歳以上の人の教室です。

※途中でオンラインに変わるかもしれません。



(初級クラス:全12回)

日時 日曜日AM10:00〜12:00

10月	22,29	12月	3,10,17,24
11月	5,12,19	1月	7,14,21

内容 日本語で簡単に話することができるようになります

定員 12人(先着) 費用 4,000円

申し込みはこちら
(10/15まで)

